

空室解消 ニュース レター Vol.18

Contents

春号

- リモデル事業部長 本間達司のコラム
「身を捨ててこそ浮かぶ瀬もある」
- リモデル事業部の BEFORE→AFTER
－「谷町四丁目プロジェクト」
- 技建社員のオススメ本
－「俺たちの老いじたく」－
- ・日本経済新聞に掲載されました！
・コンバージョンコーディネーター
第1号認定を頂きました

身を捨ててこそ浮かぶ瀬もある



みなさま、こんにちは。美しい桜の花も咲き終わり新緑の季節がやってまいりました。時間の経つのは早いもので、今年も新年度を向かえ新しい環境や新しい人との出会いに胸躍らせていることと、お察しいたします。

さて、今回は近頃実感したことわざについてお話してみたいと思います。

そのことわざとはタイトルの「身を捨ててこそ浮かぶ瀬もある」です。

このことわざの意味は「非常に苦しいときや、危険なときは、命を捨てるつもりで物事を行えば、かえってうまく切り抜けることができるものだ」というものです。

この言葉を思い出したきっかけは、先日、ある勉強会で、近江の聖人 中江藤樹の映画を鑑賞した時のことです。

中江藤樹は、武士をやめ近江の農民となった父親の子として生まれ、9歳の時に武家である祖父に養子に行きました。非常に熱心な勉学の末、知識、見識、人間性を高め、立派な侍となり将来を嘱望されたが、近江に残した年老いた母

親に孝行するため、今までの地位や名誉、自分自身の命すら顧みず、脱藩して帰郷。帰郷した近江の地で村人に人間としての正しい生き方や勉学を教え、村全体を清らかで豊かに変えた聖人です。

映画の中で、藤樹は自分自身の命や利益を顧みず村人や母親、仲間達のために率先して行動するシーンがたくさん出てきます。

藤樹自身が己のことを顧みず行動するからこそ、藤樹自身も仲間や村人から助けられ、慕われてきたのです。

驚くことに400年経った今でも、村人から尊敬され、村人の手によりお墓と記念館が守られているそうです。

この映画を見て、再度考えさせられたことは、**何事も人様の力を頼ってやっている間は誰も助けてくれない。しかし、一度、腹を括って自分自身の力でやってみると思わぬ助けや幸運を得ることができる。**但し、自分だけの利益のためでなく、人様が喜んで頂けることを行うのが大前提です。

「身を捨ててこそ浮かぶ瀬もある」、みなさまもお困り事があれば試してみられてはいかがでしょうか。

リモデル事業部のBEFORE→AFTER（番外編）

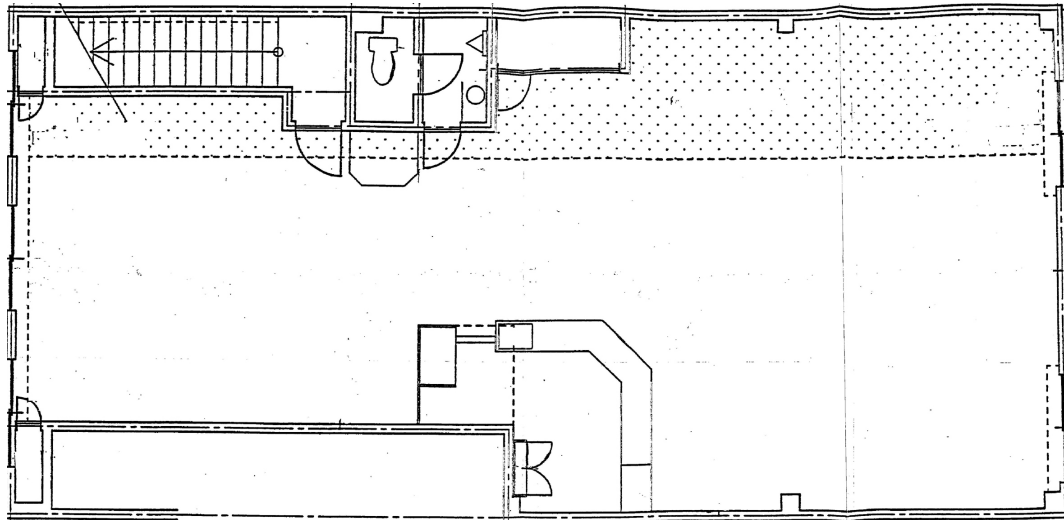
～大注目プロジェクト『谷町四丁目プロジェクト』～

「リモデル事業部のBEFORE→AFTER」番外編となる今回は、空室解消 45室目となる『谷町四丁目プロジェクト』は、**新企画 『通販マンション』の記念すべき第一室目になります。**

こちらは、東証一部上場企業 通販会社大手の千趣会様と提携させて頂き、開発した空室解消の企画です。5月末日内装完成、6月中旬には外装完成予定です。

物件は、店舗 兼 事務所ビルの2階事務所部分。

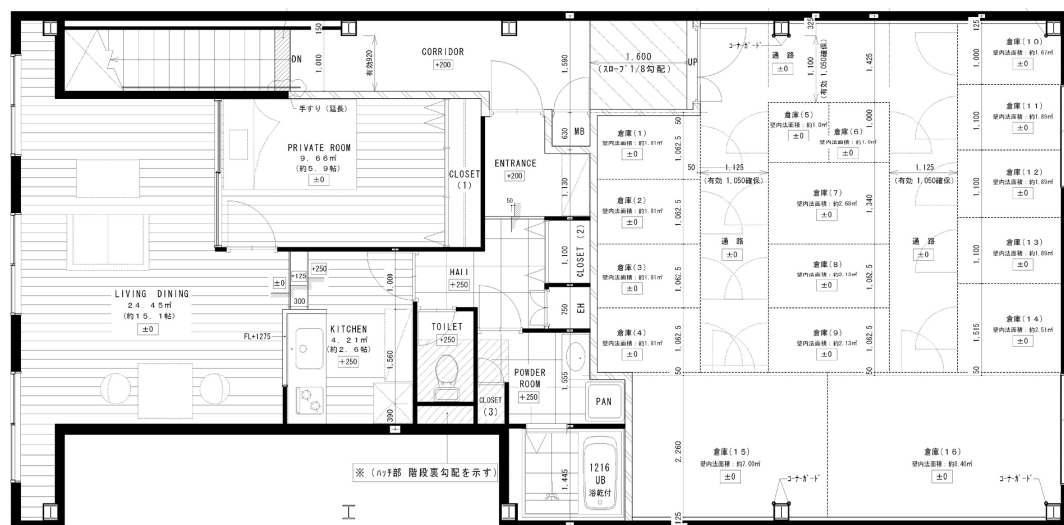
南面は日当たりが良いのですが、他面については、隣接するオフィスビルにより採光が遮断されている状態です。又EV・エントランスがありません。



BEFORE



採光の取れる南面は、需要のある1LDKの居宅を一戸とし、採光の取れない北面はトランクルームとする計画です。



AFTER

技建社員のオススメ本（リモデル事業部 西羅）

【 俺たちの老いじたく ～これから好きなように生きる～ 】

弘兼 憲央著
祥伝社 1,365 円

今回は、私の親父の年齢に近いオーナー様に是非読んで頂きたい一冊をご紹介します。

唐突ですが、私の親父は4年前に胃ガンで2度手術を行い、退院後は1年半ほど職場復帰しましたが60歳で退職しました。

最近、親父の生活は年に7回程の旅行を楽しみにしているようです。普段は、朝5時に起きて夜9時には寝るといった生活を送っています。

そんな親父の部屋で、今回、皆様に御紹介する本を見つけました。どうも親父自身が買って来た本のようにです。

その本に、親父自身が折り目を付けている箇所がありました。

第2章 「親鳥を待つ雛鳥になっていないか」

内容としては、社会で働くことを終え、残りの半生15～25年をただゴロゴロ殿様気分で居座る男の事が書かれています。

おそらく、殆ど家にいる親父が現状から抜け出すにはどうすべきか悩み、共感し折り目を付けたのでしょう。

親父の半分も生きていない私がこんな本を読んでもと思われるかもしれませんが**家族の一員が、現在どのような思いを持っているかを知る良い機会になりました。**また、まだ結婚をしていない私ですが夫婦生活に重要な事は何かを知ることが出来たような気がします。

経新聞に掲載されました！

4月19日 日本経済新聞 朝刊 近畿経済面にて、株式会社 千趣会様との提携事業である新企画「通販マンション。」が取り上げられました。

以下、「日経ネット関西版」記事転載

技建設計、賃貸マンション改装で千趣会と提携——入居者が家具選び（4月19日）

建築設計の技建設計（大阪市、本間敏司社長）は通信販売大手の千趣会と提携し、入居者が通販カタログから家具などを選べる賃貸マンション向け改装サービスを始める。老朽化したマンションの空室解消対策として、マンションオーナーに提案する。

借り手がつきにくい2DKなどの古いタイプの賃貸マンションをまず、新婚夫婦などに人気のある1LDKの間取りにリフォーム。入居者が床や壁、天井の色を選ぶことができるようにする。

また、千趣会の通販カタログ「ベルメゾン」の中から、部屋のデザインに合ったカーテンやベッド、棚などのインテリア5万—10万円分を注文できるようにもする。

借り手の好みを反映した改装により、若い女性や新婚夫婦などの需要が見込めるという。改装やインテリア購入の費用はオーナー負担だが、契約後に改装するためオーナーは投資リスクを軽減できる。関西地域で初年度100室の改装受注を目指す。

コンバージョンコーディネーター第1号認定を頂きました

2005年2月9日、株式会社 技建設計は、住宅転用コーディネーター制度の第1号の登録認定を大阪市から受けました。

大阪市の住宅転用コーディネーター制度の詳細 空きオフィスを抱えている賃貸オフィスオーナー様は、ご一報ください。(06-6533-5167 担当：鈴木)

「空室解消ニュースレター」編集部

株式会社 技建設計 リモデル事業部

〒550-0012 大阪市西区立売堀1丁目6番8号

TEL 06-6533-5167 FAX 06-6533-5140

URL: <http://www.giken-net.jp> MAIL: remodel@giken-net.jp

発行人 本間・岡崎

発行日 平成17年5月2日

当社4階モデルルームは随時見学可能となっております。見学をご希望の方はリモデル事業部までご連絡下さい。

Copyright (c) 2005 (株) 技建設計 all rights reserved.